

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本ビジネス公務員専門学校
設置者名	学校法人エイシンカレッジ

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	公務員総合科 (2年制)	夜間・通信	918.0時間	160時間以上	—
	公務員科 (1年制)	夜間・通信	361.8時間	80時間以上	
	医療ビジネス科 (2年制)	夜間・通信	536.4時間	160時間以上	—
	医療秘書科 (2年制)	夜間・通信	536.4時間	160時間以上	—
	医療ビジネス総合科 (2年制)	夜間・通信	466.2時間	160時間以上	—
	総合ビジネス科 (2年制)	夜間・通信	342.0時間	160時間以上	—
工業 専門分野	情報システム科 (2年制)	夜間・通信	385.2時間	160時間以上	—
	ゲーム・CG クリエイター科 (2年制)	夜間・通信	385.2時間	160時間以上	—
(備考) ・公務員総合科(2年制)は令和5年度入学生より「公務員専攻科」から学科名変更 ・医療ビジネス総合科(2年制)は令和6年度入学生より「医療秘書科」から学科名変更 ・募集停止学科 ビジネスライセンス科(1年制)、経理ビジネス科(2年制)、医療ビジネス科(2年生)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページによる公表

<https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/classlist.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
—(困難である理由)—

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本ビジネス公務員専門学校
設置者名	学校法人エイシンカレッジ

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページによる公表

https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/fin_04.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	学校法人（他法人）役員	R 3. 1. 8 ～R 7. 1. 7	コンプライアンス
非常勤	株式会社 役員	R 3. 1. 8 ～R 7. 1. 7	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本ビジネス公務員専門学校
設置者名	学校法人エイシンカレッジ

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し、次年度の授業計画(シラバス)を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について 授業計画(シラバス)は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。 (1) 担当教員 (2) 授業形態 (3) 概要 (4) 授業の到達目標 (5) 授業方法・授業上注意 (6) 成績評価の方法と基準 (7) 使用テキスト (8) 教材・参考文献・図書等 (9) 授業計画 ※作成に関する詳細は、「シラバスのガイドライン」 https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info06.pdf なお、シラバスの公表時期は年度更新とし、新年度開始前とする。</p>	
授業計画書の公表方法	https://jpas-nagaoka.jp/disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>本学の成績評価は、予め公表されている授業計画(シラバス)の「成績評価の方法と基準」に基づき各科目の学修成果を考查点100点、その他100点(日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワークの完成度や出席状況、検定取得状況など科目によって異なる)とする総合200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。</p> <p>詳細は、下記URL(「成績評価基準」) https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info07.pdf</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では下記に示す客観的な指標（GPA）を設定し、成績評価を実施している。</p> <p>①GPA の設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績は5段階（秀・優・良・可・不可）で評価し、それぞれの評価に対しグレードポイント（4・3・2・1・0）を付与する。 ・各科目のグレードポイントに各科目の授業時間数をかけた加重平均により GPA を算出する。 <p>②GPA 算出の計算式</p> $\frac{(\text{GPA 対象科目の総時数} \times \text{グレードポイント}) \text{の総和}}{\text{GPA 対象科目の履修合計総授業時間数}}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/gpa.pdf (「GPA と成績分布表記」)
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><卒業の認定に関する方針 ※全学科対象></p> <p>本学では下記①②の要件を共に満たした者に対し卒業を認定するものとする。</p> <p>①実践的かつ専門的な知識や技能、論理的思考、ビジネスマナーなど各学科のディプロマポリシーに掲げる能力を身につけた者。</p> <p>②以下の卒業要件を満たした者。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 卒業条件検定を取得していること。 ※検定の一覧は下記 URL を参照。 (2) 年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。 (3) 成績評価がすべて“可”以上であること。 ※上記(1)の条件のみを満たせずに留年認定を受け、その結果退学する学生については修了を認定する場合がある。 ※上記(3)の条件を満たせない者に対してのみ、事情が考慮された場合、卒業認定試験を実施する場合がある。 <p><卒業認定の実施状況></p> <p>認定基準を踏まえ、卒業認定会議（学校長・学科長・教員）を経て卒業を認定するものとする。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info09.pdf (「卒業・進級条件と専門士」)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本ビジネス公務員専門学校
設置者名	学校法人エイシンカレッジ

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/fin_01.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/fin_02.pdf
財産目録	https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/fin_03.pdf
事業報告書	https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/fin_07.pdf
監事による監査報告（書）	https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/fin_06.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	公務員総合科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1731.6 単位時間	1104.12 単位時間	395.28 単位時間	118.8 単位時間	0 単位時間	113.4 単位時間
			1731.6単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		25人	0人	3人	0人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>1. シラバスの作成過程について</p> <p>当該年度の教育課程終了後、当該年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し次年度の授業計画（シラバス）を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について</p> <p>シラバス（授業計画）は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。</p> <p>(1)担当教員 (2)授業形態 (3)概要 (4)授業の到達目標 (5)授業方法・授業上注意 (6)成績評価の方法と基準 (7)テキスト (8)教材・参考文献・図書等 (9)授業計画</p> <p>※作成に関する詳細は、「シラバスのガイドライン」 https://jpas-nagaoka.jp/pdf/edu_info06.pdf なお、シラバスは年度更新とし、公開は新年度開始前とする。 シラバス（授業計画書） https://jpas-nagaoka.jp/disclosure/</p>

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>成績評価は、予め公表されている授業計画（シラバス）の「成績評価の方法と基準」に基づき各科目の学修成果を考査点100点、その他100点（日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワークの完成度や出席状況、検定取得状況など科目によって異なる）とする総合200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。</p> <p>詳細は、下記 URL（「成績評価基準」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info07.pdf</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>下記①②の要件を共に満たした者に対し卒業および進級を認定するものとする。</p> <p>①学科のディプロマポリシーで掲げた能力を身につけた者。</p> <p>②以下の卒業要件を満たした者。</p> <p>（1）卒業・進級条件検定を取得していること。 ※検定の一覧は下記 URL を参照。</p> <p>（2）年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。</p> <p>（3）成績評価がすべて“可”以上であること。 ※上記（1）の条件のみを満たせずに留年認定を受け、その結果退学する学生については修了を認定する場合がある。 ※上記（3）の条件を満たせない者に対してのみ、事情が考慮された場合、卒業認定試験を実施する場合がある。</p> <p>卒業条件検定の詳細は下記 URL（「卒業進級要件と専門士」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info09.pdf</p>
<p>学修支援等</p> <p>学習への不安をなくし学生が自己管理の基、関連実務や資格に関する知識・技術・技能等を習得できる学修支援制度を構成する。</p> <p>・担任制の導入 ・授業時間外の個別指導 ・成績不振者への補習および保護者との連携 ・成績優秀者への奨励や表彰 ・能動的な学習の導入 ・授業評価（アンケート）の実施 ・就学機会の提供（学内奨学生制度など） ほか</p> <p>詳細は下記 URL（「学習支援等」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info11.pdf</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 R6.3 卒	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) ※令和5年度に「公務員専攻科」から学科名称を変更した学科のため実績なし			
(就職指導内容) ・公務員職種説明会 ・個別ガイダンス ・マナー指導 ・面接指導（公務員、民間）			

・履歴書作成指導 ・キャリア教育（社会的・職業的自立、自己実現への導き）
（主な学修成果（資格・検定等））
・全経簿記検定 ・ビジネス文書検定 ・日商 PC 検定（文書作成） ・日商 PC 検定（データ活用） ・MOS 検定（W o r d） ・MOS 検定（E x c e l） ・MOS 検定（PowerPoint） ・計算実務検定 ・電卓検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状 R5 年度実績		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期ガイダンス、個別ガイダンス、保護者との連携による指導、三者面談、補習授業、学費納入に関する相談など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	公務員専攻科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1942.2 単位時間	1229.58 単位時間	457.02 単位時間	117.0 単位時間	0 単位時間	138.6 単位時間
			1942.2 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
0人		0人	0人	0人	0人	0人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>2. シラバスの作成過程について</p> <p>当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し次年度の授業計画（シラバス）を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について</p> <p>シラバス（授業計画）は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。</p> <p>(1)担当教員 (2)授業形態 (3)概要 (4)授業の到達目標 (5)授業方法・授業上注意 (6)成績評価の方法と基準 (7)テキスト (8)教材・参考文献・図書等 (9)授業計画 ※作成に関する詳細は、「シラバスのガイドライン」</p>

<p style="text-align: center;"> https://jpas-nagaoka.jp/pdf/edu_info06.pdf なお、シラバスは年度更新とし、公開は新年度開始前とする。 シラバス（授業計画書） https://jpas-nagaoka.jp/disclosure/ </p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>成績評価は、予め公表されている授業計画（シラバス）の「成績評価の方法と基準」に基づき各科目の学修成果を考查点100点、その他100点（日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワークの完成度や出席状況、検定取得状況など科目によって異なる）とする総合200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。</p> <p>なお、レポート等および成果物における評価基準に関しては以下の基準とする。</p> <p>詳細は、下記 URL（「成績評価基準」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info07.pdf</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>下記①②の要件を共に満たした者に対し卒業および進級を認定するものとする。</p> <p>①学科のディプロマポリシーで掲げた能力を身につけた者。 ②以下の卒業要件を満たした者。</p> <p>（2）卒業・進級条件検定を取得していること。 ※検定の一覧は下記 URL を参照。</p> <p>（2）年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。 （3）成績評価がすべて“可”以上であること。</p> <p>※上記（1）の条件のみを満たせずに留年認定を受け、その結果退学する学生については修了を認定する場合がある。 ※上記（3）の条件を満たせない者に対してのみ、事情が考慮された場合、卒業認定試験を実施する場合がある。</p> <p>卒業条件検定の詳細は下記 URL（「卒業進級要件と専門士」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info09.pdf</p>
<p>学修支援等</p> <p>学習への不安をなくし学生が自己管理の基、関連実務や資格に関する知識・技術・技能等を習得できる学修支援制度を構成する。</p> <p>・担任制の導入 ・授業時間外の個別指導 ・成績不振者への補習および保護者との連携 ・成績優秀者への奨励や表彰 ・能動的な学習の導入 ・授業評価（アンケート）の実施 ・就学機会の提供（学内奨学生制度など） ほか</p> <p>詳細は下記 URL（「学習支援等」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info11.pdf</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 R6.3卒	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	10人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 国家公務員、南魚沼市役所、新潟県警 労災基準監督署 ほか
(就職指導内容) ・公務員職種説明会 ・個別ガイダンス ・マナー指導 ・面接指導 (公務員、民間) ・履歴書作成指導 ・キャリア教育 (社会的・職業的自立、自己実現への導き)
(主な学修成果 (資格・検定等)) ・全経簿記検定 ・ビジネス文書検定 ・日商 PC 検定 (文書作成) ・日商 PC 検定 (データ活用) ・MOS 検定 (W o r d) ・MOS 検定 (E x c e l) ・MOS 検定 (PowerPoint) ・計算実務検定 ・電卓検定
(備考) (任意記載事項) 令和5年度入学生より公務員総合科に学科名変更。

中途退学の現状 R5 年度実績		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期ガイダンス、個別ガイダンス、保護者との連携による指導、三者面談、補習授業、学費納入に関する相談など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	公務員科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	912.6 単位時間	426.6 単位時間	356.94 単位時間	43.2 単位時間	0 単位時間	85.86 単位時間
			912.6 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		2人	0人	3人	0人	3人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し次年度の授業計画 (シラバス) を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について シラバス (授業計画) は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。 (1) 担当教員 (2) 授業形態 (3) 概要 (4) 授業の到達目標 (5) 授業方法・授業上注意 (6) 成績評価の方法と基準</p>

(7)テキスト (8)教材・参考文献・図書等 (9)授業計画
 ※作成に関する詳細は、「シラバスのガイドライン」
https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info06.pdf
 なお、シラバスは年度更新とし、公開は新年度開始前とする。
 シラバス（授業計画書）
<https://jpas-nagaoka.jp/disclosure/>

成績評価の基準・方法

成績評価は、予め公表されている授業計画（シラバス）の「成績評価の方法と基準」に基づき各科目の学修成果を考查点100点、その他100点（日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワークの完成度や出席状況、検定取得状況など科目によって異なる）とする総合200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。

なお、レポート等および成果物における評価基準に関しては以下の基準とする。

詳細は、下記 URL（「成績評価基準」）

https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info07.pdf

卒業・進級の認定基準

下記①②の要件を共に満たした者に対し卒業および進級を認定するものとする。

①学科のディプロマポリシーで掲げた能力を身につけた者。

②以下の卒業要件を満たした者。

(1) 卒業・進級条件検定を取得していること。

※検定の一覧は下記 URL を参照。

(2) 年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。

(3) 成績評価がすべて“可”以上であること。

※上記(1)の条件のみを満たせずに留年認定を受け、その結果退学する学生については修了を認定する場合がある。

※上記(3)の条件を満たせない者に対してのみ、事情が考慮された場合、卒業認定試験を実施する場合がある。

卒業条件検定の詳細は下記 URL（「卒業進級要件と専門士」）

https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info09.pdf

学修支援等

学習への不安をなくし学生が自己管理の基、関連実務や資格に関する知識・技術・技能等を習得できる学修支援制度を構成する。

・担任制の導入 ・授業時間外の個別指導 ・成績不振者への補習および保護者との連携
 ・成績優秀者への奨励や表彰 ・能動的な学習の導入
 ・授業評価（アンケート）の実施 ・就学機会の提供（学内奨学生制度など）
 ほか

詳細は下記 URL（「学習支援等」）

https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info11.pdf

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数 R6.3卒	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
---------------	------	-------------------	-----

3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 国家公務員 ほか			
(就職指導内容) ・公務員職種説明会 ・個別ガイダンス ・マナー指導 ・面接指導 (公務員、民間) ・履歴書作成指導 ・キャリア教育 (社会的・職業的自立、自己実現への導き)			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ・ビジネス文書検定 ・MOS 検定 (W o r d) ・MOS 検定 (E x c e l) など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 R5 年度実績		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期ガイダンス、個別ガイダンス、保護者との連携による指導、三者面談、補習授業、学費納入に関する相談など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	医療ビジネス科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2, 089.8 単位時間	1036.8 単位時間	509.4 単位時間	543.6 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
		2, 089.8 単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	6人	0人	4人	0人	4人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し次年度の授業計画 (シラバス) を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について シラバス (授業計画) は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。</p>

<p>(1)担当教員 (2)授業形態 (3)概要 (4)授業の到達目標 (5)授業方法・授業上注意 (6)成績評価の方法と基準 (7)テキスト (8)教材・参考文献・図書等 (9)授業計画 ※作成に関する詳細は、「シラバスのガイドライン」 https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info06.pdf なお、シラバスは年度更新とし、公開は新年度開始前とする。 シラバス（授業計画書） https://jpas-nagaoka.jp/disclosure/</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>成績評価は、予め公表されている授業計画（シラバス）の「成績評価の方法と基準」に基づき各科目の学修成果を考查点100点、その他100点（日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワークの完成度や出席状況、検定取得状況など科目によって異なる）とする総合200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。</p> <p>なお、レポート等および成果物における評価基準に関しては以下の基準とする。</p> <p>詳細は、下記 URL（「成績評価基準」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info07.pdf</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>下記①②の要件を共に満たした者に対し卒業および進級を認定するものとする。</p> <p>①学科のディプロマポリシーで掲げた能力を身につけた者。 ②以下の卒業要件を満たした者。</p> <p>(1)卒業・進級条件検定を取得していること。 ※検定の一覧は下記 URL を参照。</p> <p>(2)年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。 (3)成績評価がすべて“可”以上であること。</p> <p>※上記(1)の条件のみを満たせずに留年認定を受け、その結果退学する学生については修了を認定する場合がある。 ※上記(3)の条件を満たせない者に対してのみ、事情が考慮された場合、卒業認定試験を実施する場合がある。</p> <p>卒業条件検定の詳細は下記 URL（「卒業進級要件と専門士」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info09.pdf</p>
<p>学修支援等</p> <p>学習への不安をなくし学生が自己管理の基、関連実務や資格に関する知識・技術・技能等を習得できる学修支援制度を構成する。</p> <p>・担任制の導入 ・授業時間外の個別指導 ・成績不振者への補習および保護者との連携 ・成績優秀者への奨励や表彰 ・能動的な学習の導入 ・授業評価（アンケート）の実施 ・就学機会の提供（学内奨学生制度など） ほか</p> <p>詳細は下記 URL（「学習支援等」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info11.pdf</p>
<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>

卒業生数 R5.3卒	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、クリニック ほか			
(就職指導内容) ・職業ガイダンス ・個別ガイダンス ・ビジネスマナー指導 ・面接指導 ・履歴書作成指導 ・キャリア教育(社会的・職業的自立、自己実現への導き)			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・診療報酬請求事務能力認定試験 ・医療事務管理士技能認定試験(医科) ・調剤事務管理士技能認定試験 ・介護事務管理士技能認定試験 ・医師事務作業補助者検定試験 ・医事コンピュータ技能検定 ・電子カルテ実技検定 ・秘書検定 ・日商簿記検定 ・MOS検定(W o r d) ・MOS検定(E x c e l) ・電卓検定 など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 R5年度実績		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	1人	6.6%
(中途退学の主な理由) 精神的理由で休学→退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期ガイダンス、個別ガイダンス、保護者との連携による指導、三者面談、補習授業、学費納入に関する相談など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	医療秘書科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,089.8 単位時間	1036.8 単位時間	509.4 単位時間	543.6 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
	夜間		2,089.8単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	5人	0人	4人	0人	4人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

<p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し次年度の授業計画（シラバス）を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について シラバス（授業計画）は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。 (1)担当教員 (2)授業形態 (3)概要 (4)授業の到達目標 (5)授業方法・授業上注意 (6)成績評価の方法と基準 (7)テキスト (8)教材・参考文献・図書等 (9)授業計画 ※作成に関する詳細は、「シラバスのガイドライン」 https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info06.pdf なお、シラバスは年度更新とし、公開は新年度開始前とする。 シラバス（授業計画書） https://jpas-nagaoka.jp/disclosure/</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>成績評価は、予め公表されている授業計画（シラバス）の「成績評価の方法と基準」に基づき各科目の学修成果を考查点100点、その他100点（日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワークの完成度や出席状況、検定取得状況など科目によって異なる）とする総合200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。</p> <p>なお、レポート等および成果物における評価基準に関しては以下の基準とする。</p> <p>詳細は、下記 URL（「成績評価基準」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info07.pdf</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>下記①②の要件を共に満たした者に対し卒業および進級を認定するものとする。</p> <p>①学科のディプロマポリシーで掲げた能力を身につけた者。 ② 以下の卒業要件を満たした者。 (1) 卒業・進級条件検定を取得していること。 ※検定の一覧は下記 URL を参照。 (2) 年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。 (3) 成績評価がすべて“可”以上であること。 ※上記(1)の条件のみを満たせずに留年認定を受け、その結果退学する学生については修了を認定する場合がある。 ※上記(3)の条件を満たせない者に対してのみ、事情が考慮された場合、卒業認定試験を実施する場合がある。</p> <p>卒業条件検定の詳細は下記 URL（「卒業進級要件と専門士」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info09.pdf</p>
<p>学修支援等</p>
<p>学習への不安をなくし学生が自己管理の基、関連実務や資格に関する知識・技術・技能等を習得できる学修支援制度を構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任制の導入 ・授業時間外の個別指導 ・成績不振者への補習および保護者との連携 ・成績優秀者への奨励や表彰 ・能動的な学習の導入 ・授業評価（アンケート）の実施 ・就学機会の提供（学内奨学生制度など）

ほか 詳細は下記 URL (「学習支援等」) https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_infoll.pdf
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数 R5.3卒	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (100%)	11人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、診療所、調剤薬局 ほか			
(就職指導内容) ・職業ガイダンス ・個別ガイダンス ・ビジネスマナー指導 ・面接指導 ・履歴書作成指導 ・キャリア教育 (社会的・職業的自立、自己実現への導き)			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ・診療報酬請求事務能力認定試験 ・医療事務管理士技能認定試験 (医科) ・医療事務管理士技能認定試験 (歯科) ・調剤事務管理士技能認定試験 ・介護事務管理士技能認定試験 ・医師事務作業補助者検定試験 ・医事コンピュータ技能検定 ・電子カルテ実技検定 ・秘書検定 ・MOS 検定 (W o r d) ・MOS 検定 (E x c e l) ・電卓検定 など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 R5 年度実績		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	1人	5.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期ガイダンス、個別ガイダンス、保護者との連携による指導、三者面談、補習授業、学費納入に関する相談など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	医療ビジネス総合科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1875.6 単位時間	918.0 単位時間	417.6 単位時間	5400 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,875.6 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人	8人	0人	4人	1人	5人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し次年度の授業計画（シラバス）を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について シラバス（授業計画）は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。 (1)担当教員 (2)授業形態 (3)概要 (4)授業の到達目標 (5)授業方法・授業上注意 (6)成績評価の方法と基準 (7)テキスト (8)教材・参考文献・図書等 (9)授業計画 ※作成に関する詳細は、「シラバスのガイドライン」 https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info06.pdf なお、シラバスは年度更新とし、公開は新年度開始前とする。 シラバス（授業計画書） https://jpas-nagaoka.jp/disclosure/</p>
成績評価の基準・方法
<p>成績評価は、予め公表されている授業計画（シラバス）の「成績評価の方法と基準」に基づき各科目の学修成果を考查点100点、その他100点（日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワークの完成度や出席状況、検定取得状況など科目によって異なる）とする総合200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。</p> <p>なお、レポート等および成果物における評価基準に関しては以下の基準とする。</p> <p>詳細は、下記URL（「成績評価基準」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info07.pdf</p>
卒業・進級の認定基準
<p>下記①②の要件を共に満たした者に対し卒業および進級を認定するものとする。</p> <p>①学科のディプロマポリシーで掲げた能力を身につけた者。</p> <p>③ 以下の卒業要件を満たした者。</p> <p>(1) 卒業・進級条件検定を取得していること。 ※検定の一覧は下記URLを参照。</p> <p>(2) 年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。</p> <p>(3) 成績評価がすべて“可”以上であること。 ※上記(1)の条件のみを満たせずに留年認定を受け、その結果退学する学生については修了を認定する場合がある。 ※上記(3)の条件を満たせない者に対してのみ、事情が考慮された場合、卒業認定試験を実施する場合がある。</p> <p>卒業条件検定の詳細は下記URL（「卒業進級要件と専門士」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info09.pdf</p>
学修支援等

<p>学習への不安をなくし学生が自己管理の基、関連実務や資格に関する知識・技術・技能等を習得できる学修支援制度を構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任制の導入 ・授業時間外の個別指導 ・成績不振者への補習および保護者との連携 ・成績優秀者への奨励や表彰 ・能動的な学習の導入 ・授業評価（アンケート）の実施 ・就学機会の提供（学内奨学生制度など）ほか <p>詳細は下記 URL（「学習支援等」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info11.pdf</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 R5.3卒	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） ・職業ガイダンス ・個別ガイダンス ・ビジネスマナー指導 ・面接指導 ・履歴書作成指導 ・キャリア教育（社会的・職業的自立、自己実現への導き）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 令和6年度、医療秘書科から学科名を変更			

中途退学の現状 R5年度実績		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期ガイダンス、個別ガイダンス、保護者との連携による指導、三者面談、補習授業、学費納入に関する相談など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	総合ビジネス科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

2年	昼間	1841.4 単位時間	1040.7 単位時間	1064.8 単位時間	242.5 単位時間	0 単位時間	38.9 単位時間
			2386.8 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	25人	0人	2人	2人	4人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
<p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し次年度の授業計画（シラバス）を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について シラバス（授業計画）は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。 (1)担当教員 (2)授業形態 (3)概要 (4)授業の到達目標 (5)授業方法・授業上注意 (6)成績評価の方法と基準 (7)テキスト (8)教材・参考文献・図書等 (9)授業計画 ※作成に関する詳細は、「シラバスのガイドライン」 https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info06.pdf</p> <p>なお、シラバスは年度更新とし、公開は新年度開始前とする。 シラバス（授業計画書） https://jpas-nagaoka.jp/disclosure/</p>							
成績評価の基準・方法							
<p>成績評価は、予め公表されている授業計画（シラバス）の「成績評価の方法と基準」に基づき各科目の学修成果を考查点100点、その他100点（日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワークの完成度や出席状況、検定取得状況など科目によって異なる）とする総合200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。</p> <p>詳細は、下記 URL（「成績評価基準」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info07.pdf</p>							
卒業・進級の認定基準							
<p>下記①②の要件を共に満たした者に対し卒業および進級を認定するものとする。</p> <p>①学科のディプロマポリシーで掲げた能力を身につけた者。</p> <p>②以下の卒業要件を満たした者。</p> <p>(1)卒業・進級条件検定を取得していること。 ※検定の一覧は下記 URL を参照。</p> <p>(2)年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。</p> <p>(3)成績評価がすべて“可”以上であること。 ※上記(1)の条件のみを満たせずに留年認定を受け、その結果退学する学生については修了を認定する場合がある。 ※上記(3)の条件を満たせない者に対してのみ、事情が考慮された場合、卒業認定試験を実施する場合がある。</p> <p>卒業条件検定の詳細は下記 URL（「卒業進級要件と専門士」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info09.pdf</p>							

学修支援等
<p>学習への不安をなくし学生が自己管理の基、関連実務や資格に関する知識・技術・技能等を習得できる学修支援制度を構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任制の導入 ・授業時間外の個別指導 ・成績不振者への補習および保護者との連携 ・成績優秀者への奨励や表彰 ・能動的な学習の導入 ・授業評価（アンケート）の実施 ・就学機会の提供（学内奨学生制度など） <p>ほか</p> <p>詳細は下記 URL（「学習支援等」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_inf011.pdf</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 R6.3卒	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	19人 (95.0%)	1人 (5.0%)
<p>（主な就職、業界等） 一般企業（事務職、企画、販売職） ほか</p>			
<p>（就職指導内容） ・職業ガイダンス ・個別ガイダンス ・ビジネスマナー指導 ・面接指導 ・履歴書作成指導 ・キャリア教育（社会的・職業的自立、自己実現への導き）</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） ・日本商工会議所 簿記検定2級 ・全国経理教育協会 簿記能力検定1級 ・秘書検定 ・日本商工会議所 ・販売士検定 ・MOS Word ・MOS Excel ・MOS Access ・MOS PowerPoint ・ビジネス文書検定 ・ファイナンシャル・プランニング技能検定 など</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状 R5年度実績		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	1人	2.9%
<p>（中途退学の主な理由） 進路変更のため</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 定期ガイダンス、個別ガイダンス、保護者との連携による指導、三者面談、補習授業、学費納入に関する相談など</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業 専門課程	情報システム科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2007.0 単位時間	1252.4 単位時間	295.7 単位時間	635.2 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2183.4単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		19人	3人	4人	2人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し次年度の授業計画（シラバス）を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について シラバス（授業計画）は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。 (1)担当教員 (2)授業形態 (3)概要 (4)授業の到達目標 (5)授業方法・授業上注意 (6)成績評価の方法と基準 (7)テキスト (8)教材・参考文献・図書等 (9)授業計画 ※作成に関する詳細は、「シラバスのガイドライン」 https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info06.pdf</p> <p>なお、シラバスは年度更新とし、公開は新年度開始前とする。 シラバス（授業計画書） https://jpas-nagaoka.jp/disclosure/</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>成績評価は、予め公表されている授業計画（シラバス）の「成績評価の方法と基準」に基づき各科目の学修成果を考查点100点、その他100点（日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワークの完成度や出席状況、検定取得状況など科目によって異なる）とする総合200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。</p> <p>詳細は、下記 URL（「成績評価基準」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info07.pdf</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>下記①②の要件を共に満たした者に対し卒業および進級を認定するものとする。</p> <p>①学科のディプロマポリシーで掲げた能力を身につけた者。 (ア)以下の卒業要件を満たした者。</p> <p>(1) 卒業・進級条件検定を取得していること。 ※検定の一覧は下記 URL を参照。</p> <p>(2) 年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。</p> <p>(3) 成績評価がすべて“可”以上であること。</p>	

<p>※上記（１）の条件のみを満たせずに留年認定を受け、その結果退学する学生については修了を認定する場合がある。</p> <p>※上記（３）の条件を満たせない者に対してのみ、事情が考慮された場合、卒業認定試験を実施する場合がある。</p> <p>卒業条件検定の詳細は下記 URL（「卒業進級要件と専門士」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info09.pdf</p>
<p>学修支援等</p> <p>学習への不安をなくし学生が自己管理の基、関連実務や資格に関する知識・技術・技能等を習得できる学修支援制度を構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任制の導入 ・授業時間外の個別指導 ・成績不振者への補習および保護者との連携 ・成績優秀者への奨励や表彰 ・能動的な学習の導入 ・授業評価（アンケート）の実施 ・就学機会の提供（学内奨学生制度など） <p>ほか</p> <p>詳細は下記 URL（「学習支援等」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info11.pdf</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数 R6.3卒	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100.0%)	0人 (0%)	14人 (100.0%)	0人 (0.0%)
<p>(主な就職、業界等) プログラマ、システムエンジニア、Webデザイナー、SIer、一般企業 など</p> <p>(就職指導内容) ・職業ガイダンス ・個別ガイダンス ・ビジネスマナー指導 ・面接指導 ・履歴書作成指導 ・キャリア教育（社会的・職業的自立、自己実現への導き）</p> <p>(主な学修成果（資格・検定等）) ※基本情報技術者試験、CGクリエイター検定、Webデザイナー検定、MOS (Word, Excel, PowerPoint, Access)、ホームページ作成検定など</p> <p>(備考)（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状 R5 年度実績		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	5人	16.1%
<p>(中途退学の主な理由) 精神的な健康不安、体調不良、進路変更、ほか</p> <p>(中退防止・中退者支援のための取組) 定期ガイダンス、個別ガイダンス、保護者との連携による指導、三者面談、補習授業、学費納入に関する相談など</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業 専門課程	ゲーム・CGクリエイター科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2007.0 単位時間	1252.4 単位時間	295.7 単位時間	635.2 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2183.4単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		9人	0人	4人	2人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し次年度の授業計画（シラバス）を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について シラバス（授業計画）は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。 (1)担当教員 (2)授業形態 (3)概要 (4)授業の到達目標 (5)授業方法・授業上注意 (6)成績評価の方法と基準 (7)テキスト (8)教材・参考文献・図書等 (9)授業計画 ※作成に関する詳細は、「シラバスのガイドライン」 https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info06.pdf</p> <p>なお、シラバスは年度更新とし、公開は新年度開始前とする。 シラバス（授業計画書） https://jpas-nagaoka.jp/disclosure/</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>成績評価は、予め公表されている授業計画（シラバス）の「成績評価の方法と基準」に基づき各科目の学修成果を考查点100点、その他100点（日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワークの完成度や出席状況、検定取得状況など科目によって異なる）とする総合200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。</p> <p>詳細は、下記URL（「成績評価基準」） https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info07.pdf</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>下記①②の要件を共に満たした者に対し卒業および進級を認定するものとする。</p> <p>①学科のディプロマポリシーで掲げた能力を身につけた者。 (ア)以下の卒業要件を満たした者。 (1)卒業・進級条件検定を取得していること。 ※検定の一覧は下記URLを参照。 (2)年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。</p>	

<p>(3) 成績評価がすべて“可”以上であること。 ※上記(1)の条件のみを満たせずに留年認定を受け、その結果退学する学生については修了を認定する場合がある。 ※上記(3)の条件を満たせない者に対してのみ、事情が考慮された場合、卒業認定試験を実施する場合がある。</p> <p>卒業条件検定の詳細は下記 URL (「卒業進級要件と専門士」) https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info09.pdf</p>
<p>学修支援等</p> <p>学習への不安をなくし学生が自己管理の基、関連実務や資格に関する知識・技術・技能等を習得できる学修支援制度を構成する。 ・担任制の導入 ・授業時間外の個別指導 ・成績不振者への補習および保護者との連携 ・成績優秀者への奨励や表彰 ・能動的な学習の導入 ・授業評価(アンケート)の実施 ・就学機会の提供(学内奨学生制度など)ほか</p> <p>詳細は下記 URL (「学習支援等」) https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/edu_info11.pdf</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数 R6.3卒	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) ・職業ガイダンス ・個別ガイダンス ・ビジネスマナー指導 ・面接指導 ・履歴書作成指導 ・キャリア教育(社会的・職業的自立、自己実現への導き)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) ※令和6年度より開始のため主な実績なし			

中途退学の現状 R5年度実績		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 精神面の不安定、進路変更、ほか		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期ガイダンス、個別ガイダンス、保護者との連携による指導、三者面談、補習授		

業、学費納入に関する相談など

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

・令和5年度入学生

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
公務員総合科	100,000 円	420,000 円	440,000 円	
公務員専攻科	100,000 円	420,000 円	440,000 円	
公務員科	100,000 円	420,000 円	440,000 円	
医療ビジネス科	100,000 円	420,000 円	390,000 円	
医療秘書科	100,000 円	420,000 円	390,000 円	
総合ビジネス科	100,000 円	420,000 円	440,000 円	
情報システム科	100,000 円	420,000 円	440,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

・令和6年度入学生

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
公務員総合科	100,000 円	440,000 円	440,000 円	
公務員科	100,000 円	440,000 円	440,000 円	
医療ビジネス総合科	100,000 円	440,000 円	420,000 円	
総合ビジネス科	100,000 円	440,000 円	440,000 円	
情報システム科	100,000 円	440,000 円	440,000 円	
ゲーム・CGクリエイター科	100,000 円	440,000 円	440,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/evaluate_01.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 次に掲げる区分のいずれかから学校長が委嘱する委員により構成する。 (1) 関連業界等関係者 (企業等委員) (2) 卒業生 (3) 教育に関し知見を有する者 (4) その他学校長が必要と認める者		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別

アートビジネスサプライ株式会社	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	企業等委員
株式会社エイエイピー 新潟支店	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://jpas-nagaoka.jp/pdf/disclosure/eveluate_02.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://jpas-nagaoka.jp/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。